

雪の里通信

VOL.36

2018.12.発行



『雪の講座』(31.1/20) 参加者募集！

雪の講座参加者募集！

雪国に生まれ育つ子どもたちに“雪の不思議さと雪の魅力をもっと知ってもらいたい”という願いから、雪の講座を企画しました。皆さんご参加をお待ちしております。

期日 1月20日(日) 《受付》8:45~《活動》9:00~11:30

「雪の結晶の觀察」「雪結晶の万華鏡づくり」

「氷のペンダント作り」「アイス作り」

△対象者 新庄市内小学生3~6年生 先着 25名

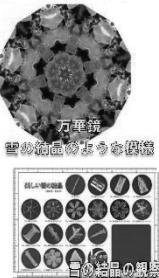
△講師 雪氷防災研究センター新庄雪氷環境実験所職員・雪の里情報館職員

△その他 外で活動できる服装で！

※参加料は無料です

※雪の結晶の下敷きプレゼント (株)興和提供

※申し込み集合・解散は雪の里情報館になります



申し込みは、雪の里情報館へ
1月16日(水)までお願いします。

雪の里情報館
山形県新庄市石川町4-15
TEL 0233-22-7891
FAX 0233-22-7860
開館時間 9:00~17:00 月曜休館日

昨年度の『雪の講座』では、「雪の結晶の觀察」「氷のペンダント作り」「アイス作り」を実施しましたが、今年度は新たに「雪結晶の万華鏡づくり」を取り入れました。雪氷防災研究センター新庄雪氷環境実験所職員の方の協力のもと、雪国に生まれ育つ子どもたちに、“雪の不思議さ”と“雪の魅力”を知ってもらいたいと思います。



平成30年度第8回 雪ん子俳句展作品募集

昨年度の各学年最優秀作品

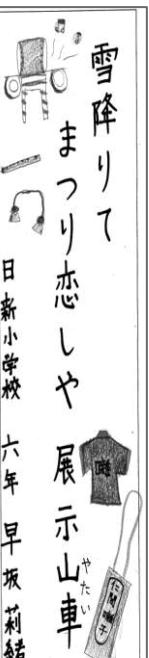
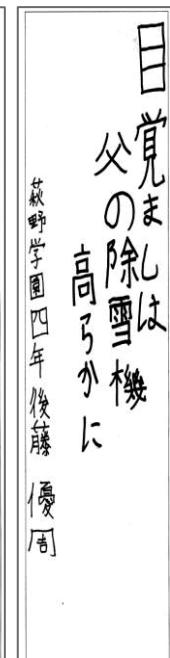
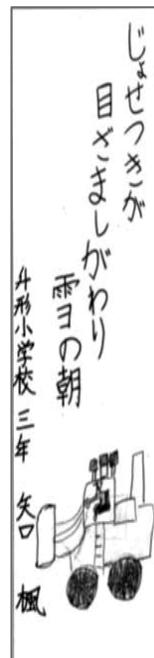
当館では、子どもたちが感性でとらえた「雪」を、俳句に表わすことをとおして、雪国の自然や暮らしについて関心を高め、雪に培われた文化への誇りを持ち、雪と共に暮らす意識の醸成をねらいとして、7年前から俳句展に取り組んでおります。

昨年度は、新庄・最上地区の全小学校から535点の応募（過去最高）をいただきました。また、新たに設けた学校賞には、新庄市萩野学園が選出されました。

今年度も、私たち大人を“ほっこり”させてくれる作品をお待ちしております。

◇募集期間

平成31年1月8日~1月19日



雪里セミナー「流雪溝の効果的な利用について」11.18 実施



11月18日(日)に雪里セミナー「流雪溝の効果的な使い方」を開催しました。30名程の参加者が集いました。

新庄市は、雪が降り始めると隣同士仲が悪くなる、という声を耳にします。その多くは、流雪溝を巡ってのトラブルのようです。そこで、大石田地区流雪溝利用協力会連合会会長の伊東建夫氏と沼田町地区流雪溝利用組合代表の宮林圭一氏のお二人から事例を紹介してもらい、参加者同士で意見を出し合って、より良い使い方につなげていけるように企画した事業です。

「投雪ルール」をいかに守ってもらうか、難しい話題でしたが、雪が降る前から、隣同士又は町内の人間関係づくりを円滑にしておくことが大切だという意見が心に残りました。

雪里セミナー「魔除けのしめ飾り」作り 12.4 実施

『雪調』時代に、冬期間の農家の副業としてわら細工を推奨してきた歴史があります。そこで、ワークショップとして「魔よけのしめ飾り」作りを通して、手作りの良さやモノづくりの大切さを改めて感じてもらいたいとの思いで実施しました。

当日は、30名定員であったが申込者が多く、参加者を大幅に増やして42名の参加者+サブ指導者6名+マスコミ関係者5名の総勢53名の大所帯でした。

昨年の反省（難易度が高いしめ飾りなのに、参加者30名に対し指導できる人が講師しかいなかった）を受けて、事前に高橋講師から作り方を習い、サブ的に指導できる人材6名を確保して、班に1名ずつ配置しました。高橋講師も段階的に全員ができるまで待ちながら進めてくれたので、時間内で参加者全員が完成することができました。来年度も12月に実施予定です。



平成31年2月3日(日) 雪の里まつり&春恋コンサート

**9:00~12:00
『雪の里まつり』**

- ◇施設利用各種団体の成果発表
- ◇はぐくみ保育園・新庄保育園発表
- ◇作品展示
- ◇ワークショップ（手作り小物体験）
- ◇甘酒・風船・綿あめ無料配布
- ◇産直販売
- ◇出店（焼きそば・フランクフルト等）
- ◇雪中宝探し

14:00~16:00

『春恋コンサートVI』

～みんなでつくるコンサート～

茅野博&ゆかいな仲間たち

構成・演出 茅野博

司会 佐々木新一郎

歌唱リード 矢部直子

ピアノ演奏 平櫻いづみ



雪の里情報館

TEL (22) 7891